▼オンデキサ静注用　［注］

【重要度】　【一般製剤名】アンデキサネット　アルファ（遺伝子組換え）　Andexanet Alfa（Genetical Recombination）　【分類】
【単位】▼200mg/V
【常用量】DOAC の種類，最終投与時の 1 回投与量，最終投与からの経過時間に応じて A 法又は B 法の用法及び用量で静脈内投与

A 法 : 400mg を 30mg/分の速度で静脈内投与し、続いて 480mg を 4mg/分の速度で 2 時間静脈内投与する。
B 法 : 800mg を 30mg/分の速度で静脈内投与し、続いて 960mg を 8mg/分の速度で 2 時間静脈内投与する。
【用法】静注後，点滴静注
1V あたり注射用水 20mL で溶解して採取し，単独で，ポンプ注とし，蛋白結合性の低い 0.2 又は 0.22μm のインラインフィルター（ポリエーテルスルホン製等）を通して投与
【透析患者への投与方法】
【保存期 CKD 患者への投与方法】
【特徴】ヒト第 Xa 因子の遺伝子組換え改変デコイタンパク質. 血液凝固因子としての酵素活性はない. 高い親和性で直接作用型第 Xa 因子阻害剤であるアピキサバン，リバーロキサバン，エドキサバンへ結合し抗凝固活性を中和.
【主な副作用･毒性】
【安全性に関する情報】
【F】
【tmax】
【代謝】
【排泄】
【t1/2】
【蛋白結合率】
【Vd】
【MW】
【透析性】
【O/W 係数】
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20230308

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。